

用語集

(印を付したものは本報告書で定義した用語。印のないものは一般的な用語)

各種公的機関等の損失

交通事故に関連して発生する社会福祉費用、救急費用、車両・医療設備費用、裁判費用、保険運営費といった各種公的機関等において発生する損失のこと。

確定的CV法

確定的な状態の変化(例えば交通事故で被った負傷が治癒する、など)に対する「WTP」や「WTA」を尋ねる「CV法」のこと。

確率的CV法

確率的な状態の変化(例えば交通事故に遭う確率が %低下する、など)に対する「WTP」や「WTA」を尋ねる「CV法」のこと。

金銭的損失

道路交通事故の発生により、個人等の身体や財物が物理的な損傷を被ることによって発生する損失のこと。人的損失、物的損失、事業主体の損失、各種公的機関等の損失からなる。

事業主体の損失

被害者が死亡あるいは負傷することによって、被害者の勤める事業主体において発生する損失のこと。被害者の生産活動による付加価値から人件費相当分を除いたもの。

死傷損失

「非金銭的損失」のうち、交通事故の発生により、被害者が死亡あるいは負傷することによって、被害者本人が被る痛み、苦しみ、悲しみ、生活の質の低下及び生きる喜びを全くあるいは十分に享受できなくなる損失のこと。

死亡損失

「死傷損失」のうち、死亡による損失のこと。

受容バイアス

CV法の支払賛否を尋ねる質問において、回答者が、提示額に関わりなく支払いに賛成しがちになる傾向のこと。Yea-sayingバイアスとも言う。受容バイアスが生じている場合、WTPは過大評価になる恐れがある。

順序バイアス

CV法などのアンケート調査で、質問順によって回答結果が変わること。また、それによって生じる結果のゆがみ。

人的損失

人的資源の滅失、価値の低下による損失のこと。治療関係費、休業損失、慰謝料、逸失利益等からなる。

スコープテスト

評価結果の信頼性を検証するため、評価対象が変化したときに評価額が変化するかを確認すること。

多段階二項選択方式

CV法でWTPを把握するための質問方式の一種。提示した金額に対する支払賛否を1人の回答者に複数回尋ねる。1回目の提示額（初期提示額）を低い額とし、徐々に提示額を高くしながら、複数回の支払賛否を尋ねる方法がよく用いられる。

ターンブルモデル

分布関数を特定せずにWTPを推定する手法の一つ。生物統計学や経営工学で使われる統計手法である生存分析が用いられる。

二段階二項選択方式

CV法でWTPを把握するための質問方式の一種。提示した金額に対する支払賛否を1人の回答者に2回尋ねる。1回目の提示額(初期提示額)に対する支払賛否を聞いたあと、賛成者には初期提示額より高い提示額を、反対者にはより低い提示額を再度示して、2回目の支払賛否を尋ねる。

バイアス

CV法などのアンケート調査で、調査方法や質問の仕方などが、回答結果に与えるゆがみのこと。

非金銭的損失

道路交通事故の発生により、個人等の身体や財物が物理的な損傷を被ることによって発生する、被害者の肉体的な痛みや苦しみ、被害者の家族及び友人の精神的な苦痛や悲しみ、さらには加害者並びにその家族及び友人の心理的負担など、金銭的資源の消費、滅失及び性能低下以外の損失のこと。

負傷損失

「死傷損失」のうち、負傷による損失のこと。

物的損失

物的資源の滅失、価値の低下による損失のこと。車両、構築物の修理、修繕、弁償費用からなる。

メタ分析

複数の調査事例の分析結果を用いて行う分析のこと。

AIS

解剖学的重症度 (Abbreviated Injury Scale) のこと。

交通事故その他による外傷的な損傷の程度をスコア化したもの。米国自動車医学振興協会 (Association for the Advancement of Automotive Medicine: AAAM) が1971年に初めて発表して以来、改訂が重ねられている。

CV法

仮想市場評価法 (Contingent Valuation Method) のこと。

アンケートを用いて、状況の改善に対する「WTP」や、状況の悪化等に対する「WTA」を一般市民などに尋ねることによって、改善による便益や悪化による損失を推計する方法。

QoL

生活の質 (Quality of Life) のこと。

健康関連のアウトカムとして用いられる場合は、患者の肉体的・精神的な健康を構成する要素とその程度を表す。

RS法

ランキング・スケーリング法のこと。

ある状態を示す複数のカードを、望ましい順に並べ (ランキング)、それを目盛りの付いた数直線上に並べること等により点数付けする (スケーリング) ことで、各状態の相対的な大小関係を数値化する方法。

SG法

スタンダード・ギャンブル法 (Standard Gamble Method) のこと。

負傷の評価に例えると、なんらかの確実な結果を生む「通常の治療」に対して、成功すれば健康状態に戻れるが失敗すれば「通常の治療」を受けるよりも望ましくない結果を生むという「特別な治療」があると仮定し、「特別な治療」の失敗確率（成功確率）がどの程度であれば、「特別な治療」と「通常の治療」が無差別になるかをアンケートによって尋ねることによって、負傷の相対的な重みを推定する方法。

VSL

統計的生命価値 (Value of Statistical Life) のこと。確率的生命価値とも呼ぶ。

死亡リスクの微少な削減に対する「WTP」を、リスクの変化量で割ることによって求められる。

WTA

受入補償額 (Willingness to Accept) のこと。

政策などによる状態の悪化を受け入れるために最小限必要と考える補償額。

WTP

支払意思額 (Willingness to Pay) のこと。

政策などによる状態の改善に対して最大限支払ってもよいと考える金額。